



学校運営協議会だより

～コミュニティスクール～

No.01

令和4年7月29日

発行：CS担当

【教育目標】小樽の未来をつくる 北陵生の育成 【重点】「未来につながる力を育てる」～小中一貫教育の推進～

第2回 学校運営協議会で1学期の学校運営を振り返りました

7月22日（金）18時から、本校図書室にて、委員11名が参加して第2回の学校運営協議会を行いました。遠藤会長から「安部元総理の事件は子ども達に見せたくなかった。家庭、学校、地域で心のケア、情操教育の必要性を感じている」とのごあいさつをいただいた後、岡本校長らが1学期の学校運営を振り返りました。



校長より／地域みな様からいただいたご意見等

【岡本校長・齊藤主幹教諭より1学期の学校運営について】

- 全校生徒との校長面談を継続している。子ども達からは「1学期は早かった」との意見が多かった。
- 子ども達の1学期の頑張りを感ずる。良かったことも悪かったことも含め受け止めて、しっかり指導していきたい。
- 33SKILLの中で、子ども達の自己評価第1位の項目は「感謝することができる」であった。

【協議事項や主なご意見など】

●脅迫メールへの対応について

- ⇒地域でも見守り活動を4日間行った。中には「ご苦労様です。ありがとうございます。小学校1年生の弟がいるので、声をかけてやってください」と立ち止まって挨拶する男子生徒がいて、感心した。
- ⇒朝の挨拶でも、昨年まではなかなか挨拶を返してくれなかった2年生の2名の女子生徒が、今年になって挨拶するようになった。

●部活動の在り方について、その後進展はあったのでしょうか？

- ⇒来年から3年間かけて外部に移行予定。令和5年度は、合同チームを組んでいる部活から拠点校方式で行うことになっており、先生方からもアンケートをとることになっている。

●最近の子ども達に夢はあるのだろうか？

- ⇒目標をもった子は強い。SKILLよりWILL。そのような子どもを育て、前進するエンジンを取り付けて欲しい。よい先生に出会うことが大切だ。地域も励ましていきたい。

●ヤングケアラーの事例はあるか？

- ⇒該当すると思われるケースについては、「子ども未来部」や「中央児童相談所」と連携して、同行訪問などを行っている。幼児の放置事例のニュースも耳にする。アンテナを張って見ていきたい。



7/23 潮ねりこみへの参加の様子